



配水管の急速吸排気  
小型急速空気弁

# NAV-STD



NAV-STD

給水立て管の負圧破壊と  
自動空気抜き  
吸排気弁

# NAV-S -ODCII・III



NAV-ODC II

NAV-S-I

**小型なのに多機能・高性能**  
**シンプルな構造で耐久性に優れる**



株式  
会社

素敵な創造 ~人へ・未来へ

日邦バルブ

# NAV 小型急速空気弁・吸排気弁



## NAVの特長

- 小型・軽量で取付け・取扱い・メンテナンスが容易です。
- 性能を重視しました。

☆NAV-STD : JWVA B 137 水道用急速空気弁 2種 25mmに準拠。  
 ☆NAV-S : 自動空気抜き・排気 (充水時) 機能に併せ、各団体・事業体吸気性能基準40mm立て管対応。  
 ☆NAV-ODCⅡ : 自動空気抜き・排気 (充水時) 機能に併せ、各団体・事業体吸気性能基準50mm及び東京都NAV-ODCⅢ 75mm立て管対応。

- 本体は鉛レス青銅合金製、内部のフロート弁体はNBR製で耐食性に優れます。
- ガイドピンのないシンプルでごみづまりの少ない構造。耐久性にも優れます。
- 各種オプション品を取り揃えております。

## 品揃え

品名	主な設置場所	商品記号	呼び径	オプション品	機能	記載ページ
小型急速空気弁	配水管路の高所	NAV-STD	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空気弁用ボール弁 BS-AIR 13、20、25</li> <li>● 空気弁用サドルバンド K-S 配水管径40~350 取出口径13~25</li> <li>● 配水ポリエチレン管用鋳鉄サドル KS-HPJW 配水管径50~200 取出口径25</li> <li>● 配水ポリエチレン管用鋳鉄サドル KS-EFVJW 配水管径50~150 取出口径25</li> <li>● メタル入り上水フランジ FM-AIR 75×13、75×20、75×25</li> <li>● 上水フランジ F-AIR 75×13、75×20、75×25</li> <li>● 防寒カバー 13、20、25</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">急速多量排気</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">急速吸気 (負圧破壊)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自動空気抜き (圧力下排気)</div>	2~8ページ
吸排気弁	中高層建物の給水立て管頂部	NAV-S・G <small>(排水配管接続部: 平行おねじ、ナット接続)</small>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボール止水内ねじ BSI (片側管端コア付) 20</li> <li>● 仕切弁 B-WGI 20</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">急速吸気 (負圧破壊)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自動空気抜き (圧力下排気)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">排気(充水時)</div>	9~14ページ
		NAV-S・I <small>(排水配管接続部: テーパめねじ)</small>				
		NAV-ODCⅡ	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空気弁用ボール弁 BS-AIR 13・20・25</li> <li>● 空気弁用内ねじボール弁 BSI-AIR (管端コア付) 25</li> <li>● G (鋼管) ユニオン本体25 + 仕切弁 B-WGI 25</li> <li>● G (鋼管) ユニオン本体25×20 + 仕切弁 B-WGI 20</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">急速吸気 (負圧破壊)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自動空気抜き (圧力下排気)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">排気(充水時)</div>	
NAV-ODCⅢ	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空気弁用ボール弁 BS-AIR 25</li> <li>● 空気弁用内ねじボール弁 BSI-AIR (管端コア付) 25</li> <li>● G (鋼管) ユニオン本体25 + 仕切弁 B-WGI 25</li> <li>● G (鋼管) ユニオン本体25×20 + 仕切弁 B-WGI 20</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">急速吸気 (負圧破壊)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自動空気抜き (圧力下排気)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">排気(充水時)</div>			

## NAV-STD

### ◆配水管では「排気」が重要。

#### 1. 排気 (充水時の急速多量排気機能と、通水時の圧力下排気機能により、すみやかに排気。)

排気が適切に行なわれないと、以下の様な問題が起こる可能性があります。

##### ●出水不良

配水管路の高所 (水管橋等) へ空気が溜まると流路が制限され、通水能力が低下し、出水不良の原因となります。

##### ●水道メータの空転・ポンプのエアロック

配水管工事等で給水管へ入り込んだ空気により、水道メータの空転やポンプのエアロックを発生させる危険があります。

##### ●腐食

管路で常時空気溜りとなっている部分は腐食の進行が加速され、漏水事故に繋がる危険性が増します。

##### ●脈動

大きな空気溜りは管内の圧力変動を増幅し、接続されている器具の耐久性や作動、配管の耐久性等に影響を与える心配があります。

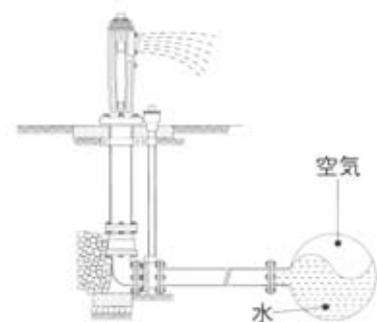
《参考》多量排気量

JWWA B 137 水道用急速空気弁では最小排気量が定められており、25mmで1.3m<sup>3</sup>/min (弁差圧5kPa時)、NAV-STDは1.6m<sup>3</sup>/minです。

#### ※なぜ消火栓から十分に抜けないのか。

配水管の充水時に消火栓から空気を抜くことが行われています。しかし空気は軽く、水圧により圧縮されて、管の上部に押しつけられた状態で流れてきます。図のように横からの取出しでは、管上部の空気は抜けません。充水時に多量に流れてくる空気を排出するためには、急速空気弁<sup>注)</sup>の利用が効果的です。(大空気孔により急速に多量に排出する必要があります。)

注) 急速空気弁でも流速が早い場合は、全量を抜くことはできません。



#### 2. 吸気

##### ●吸気効果

配管工事で行われる洗管作業の水抜き時、吸気により管路内の水の排出がスムーズに行われます。

管路に負圧が発生する場合、空気の供給により管路の保護が図れます。また、負圧による真空を破壊することにより逆流防止の効果も期待できます。

#### 仕様

- 使用流体：水道水 (常温)
- 使用圧力：0.05 ~ 0.75MPa
- 耐圧：1.75MPa以下

#### 認証登録

- 認証機関：公益社団法人 日本水道協会 品質認証センター
- 適合性能：耐圧・浸出・耐久
- 認証番号：E-471



# 配水管の急速吸排気 小型急速空気弁

**機能** (JWWA B 137 水道用急速空気弁 2種 25 に準拠)

## ●急速多量排気機能

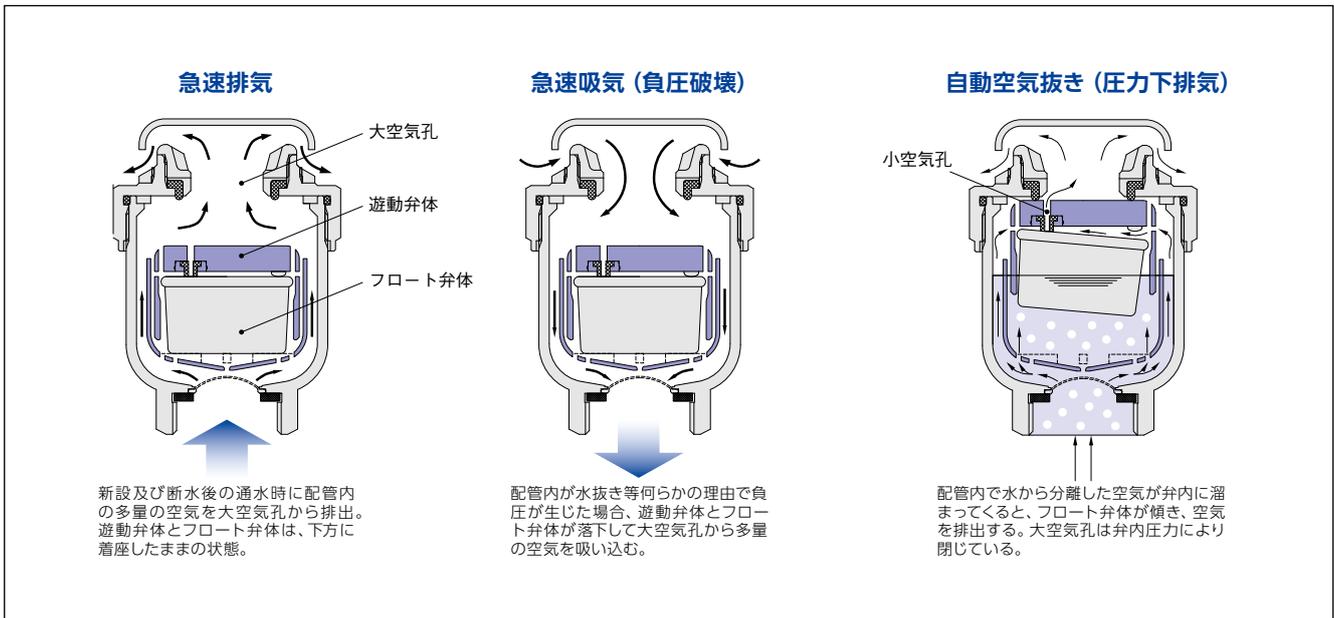
管内に水を満たす際、大空気孔より多量の空気を排出します。

## ●急速多量吸気 (負圧破壊) 機能

管内から水を排除する際、大空気孔より多量の空気を吸い込み、サイフォン現象による逆流を防ぎます。

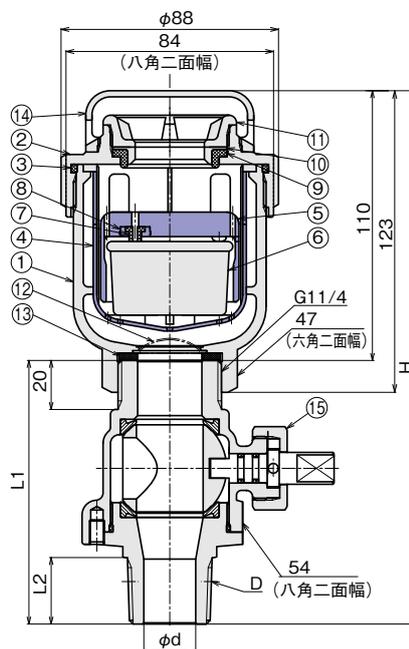
## ●自動空気抜き (圧力下排気) 機能

管内の高所に溜まった空気を小空気孔より自動的に排出し、空気溜りを解消します。



## 構造・寸法

### NAV-STD



### ■主要寸法表

記号	D	φd	L1	L2	H
呼び径 13	R3/4	14	105	24	215
20	R1	21	107.5	27	217.5
25	R1 1/4	26	110	30	220

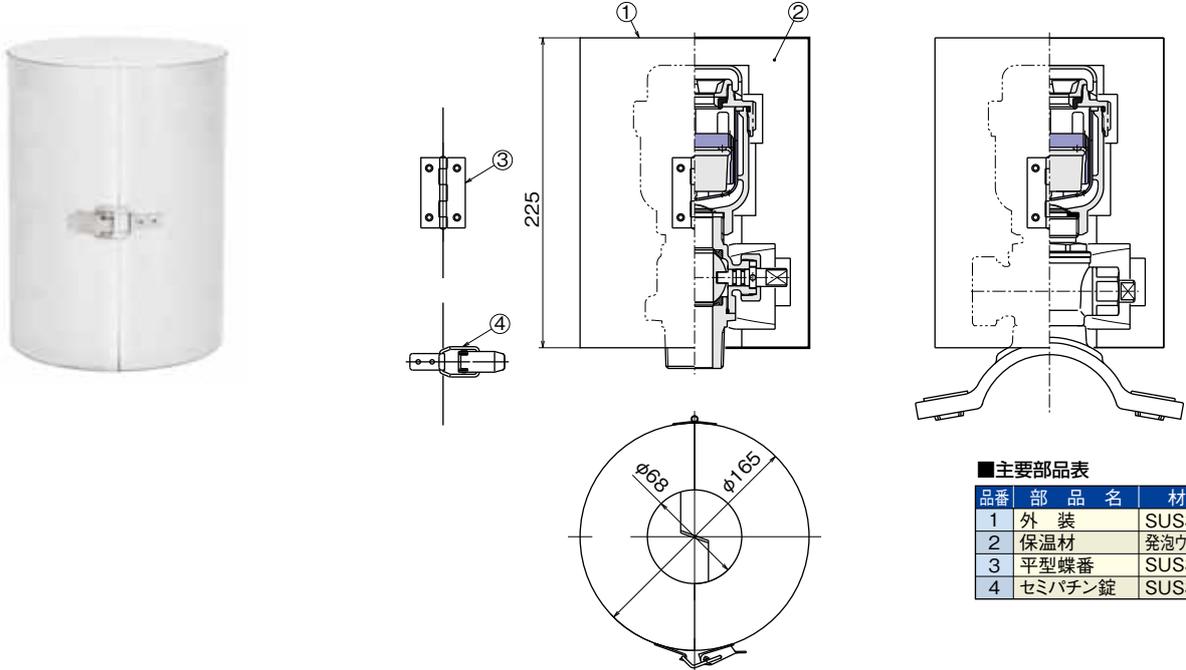
### ■主要部品表

品番	部品名	材質
1	本体	CAC911
2	ボンネット	CAC911
3	Oリング	NBR
4	バケット	POM
5	遊動弁体	PP
6	フロート弁体	NBR
7	小空気孔パッキン	NBR
8	小空気孔パッキン押え	PP
9	大空気孔パッキン	NBR
10	大空気孔パッキン押え	CAC406C
11	キャップ	CAC406
12	ストレーナ	SUS304
13	ユニオンパッキン	NBR
14	カバー	CAC406
15	ボール弁	CAC911

## オプション品

### ■防寒カバー

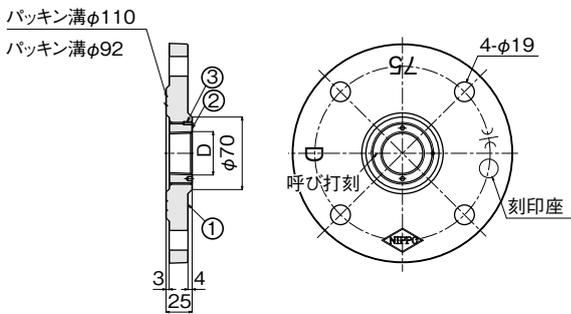
NAV-STDボール弁付に使用の場合 サドル付分水栓+NAV-STDに使用の場合



#### ■主要部品表

品番	部品名	材質
1	外装	SUS304
2	保温材	発泡ウレタン
3	平型蝶番	SUS304
4	セミパチン錠	SUS304

### ■メタル入り上水フランジ FM-AIR



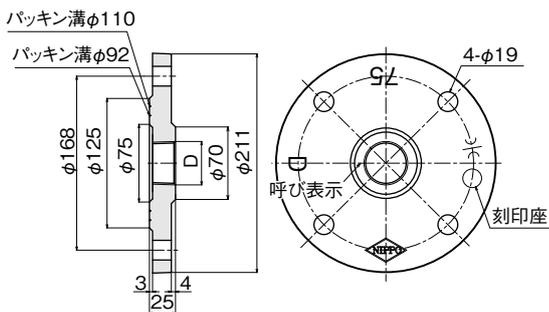
#### ■主要部品表

品番	部品名	材質
1	フランジ本体	FCD450 (エポキシ樹脂 粉体塗装)
2	アダプター	鉛レス青銅連铸棒
3	ピン	SUS304

#### ■主要寸法表

呼び径	記号	D	φd
13	R3/4	14	
20	R1	21	
25	R11/4	26	

### ■上水フランジ F-AIR



#### ■主要寸法表

呼び径	記号	D
13	Rc3/4	
20	Rc1	
25	Rc11/4	

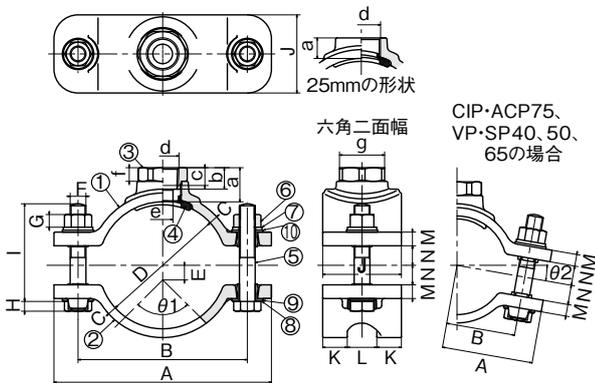
#### ■材質

FCD450  
(エポキシ樹脂粉体塗装)

# 配水管の急速吸排気 小型急速空気弁

## ■サドルバンド

### 鋳鉄管 (CIP)・石綿管 (ACP)・塩ビ管 (VP)・鋼管 (SP) 用 K-S



1. N寸法欄の上段、下段の寸法値は、各々サドル側、バンド側の寸法を示す。
2. Rc 3/4 山14 外径26.441 谷径 24.117  
Rc1 山11 外径33.249 谷径 30.291  
Rc1 1/4 山11 外径41.910 谷径 38.952
3. a, b, c寸法欄の( )内寸法はCIP及びACP200以上の寸法を示す。



#### ■主要寸法表

記号 取出口径	(mm)						
	a	b	c	d	e	f	g
13	35 (37)	23	19	Rc 3/4	14	14	46
20	35 (37)	23	19	Rc1	21	14	46
25	21 (23)	21 (23)	21 (23)	Rc1 1/4	-	-	-

#### ■主要寸法表

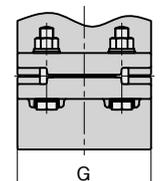
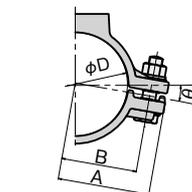
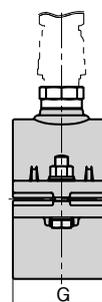
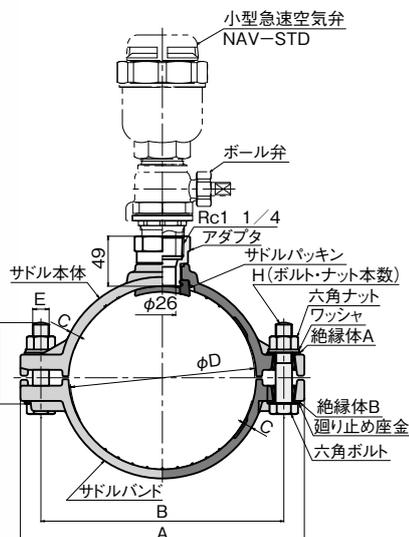
記号	(mm)																
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	θ1	θ2	
ACP	50	171	126	8.0	76	-	M16	13	10	70	80	-	-	12	15	-	-
	75	92.5	70	8.5	101	-	-	-	-	-	-	-	-	12	20	-	10°
	100	221	172	9.0	130	15	-	-	-	100	-	-	25	30	14	20	90°
CIP	125	253	204	9.0	160	-	-	-	-	100	-	-	25	30	14	22	-
	150	271	220	9.0	190	-	M16	13	10	140	80	25	30	15	45	-	-
	200	327	266	11.0	232	-	M20	16	13	180	100	32.5	35	18	50	-	-
VP	250	381	320	12.0	286	-	-	-	-	210	-	-	-	-	67	-	-
	300	421	360	12.5	326	-	-	-	-	210	-	-	-	-	67	-	-
	350	481	420	13.0	378	-	-	-	-	210	-	-	-	-	67	-	-
SP	200	347	286	10.0	251	-	-	-	-	180	-	-	-	-	50	-	-
	250	407	346	11.0	312	-	-	-	-	210	-	-	-	-	67	-	-
	300	469	408	12.0	370	-	-	-	-	210	-	-	-	-	74.5	-	-
VP	350	543	482	13.0	435	15	M20	16	13	210	100	32.5	35	18	77	90°	-
	40	78	55.5	7.0	49	-	M16	13	10	60	80	-	-	12	5	-	15°
	50	82.5	60	7.0	62	-	-	-	-	60	-	-	-	12	-	-	10°
VP	65	85.5	63	7.0	78	-	-	-	-	60	-	-	-	12	-	-	10°
	75	185	140	7.0	91	-	-	-	-	60	-	-	-	12	-	-	-
	100	219	170	9.0	116	-	-	-	-	70	-	-	-	14	-	-	-
SP	125	245	196	9.0	142	-	-	-	-	70	-	-	-	14	-	-	-
	150	273	222	9.0	167	-	-	-	-	70	-	-	-	15	5	-	-
	200	327	276	10.0	219	-	M16	13	10	70	80	-	-	15	7	-	-

#### ■主要部品表

品番	部品名	材質	数量	備考
1	サドル	FCD450	1	エポキシ樹脂粉体塗装
2	バンド	FCD450	1	エポキシ樹脂粉体塗装
3	プッシング	CAC911	1	
4	サドルパッキン	NBR	1	IA・70
5	六角ボルト	SUS304	2	
6	六角ナット	SUS304	2	モリブデンコーティング
7	平座金	SUS304	2	
8	回り止め座金	SUS304	2	
9	絶縁体A	PC	2	
10	絶縁体B	PC	2	

## 配水ポリエチレン管用 鋳鉄サドル (メカニカル式) KS-HPJW

### ●出水現場や雨天環境下での施工もOK



JWWA 50,75,100の形状

PTC 200の形状

#### ■主要寸法表

記号	A	B	C	D	E	F	G	H	θ
ISO	50	92.5	72.5	7.0	63	M16	70	90	2 17°
(JWWA)	75	99	79	7.0	90	M16	70	90	2 17°
	100	110	90	9.0	125	M16	70	120	2 10°
	150	277	237	9.0	180	M16	80	120	2 -
ISO (PTC)	200	350	310	9.0	250	M16	90	160	4 -

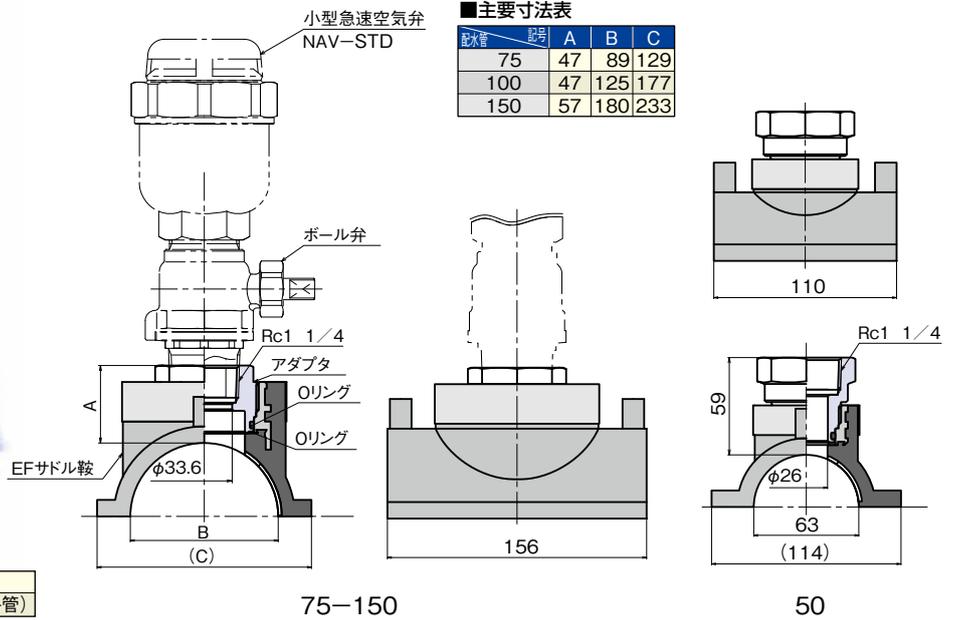
取付ねじ	25=Rc 1 1/4
取付管	50~150(JWWA K 144 規格管) 200(PTC K 03 規格管)

## 配水ポリエチレン管用 EFサドル KS-EFVJW

●電気融着工法 (EF) により取付管に接合

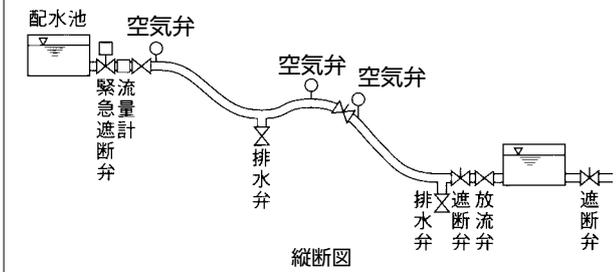


取付ねじ	25=Rc 1 1/4
取付管	50~150(JWWA K 144 規格管)

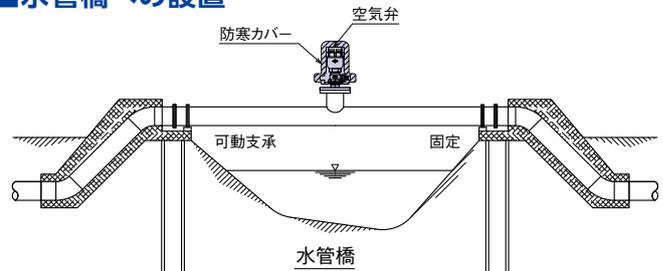


## 設置例

### 送配水系統図及びバルブ設置位置例

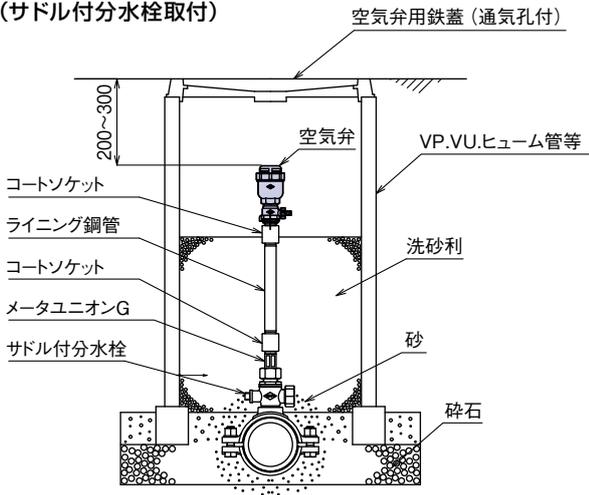


### ■水管橋への設置



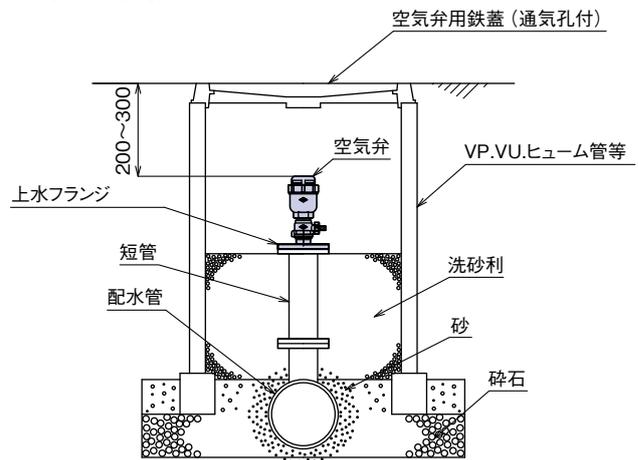
### ■空気弁室

(サドル付分水栓取付)



### ■空気弁室

(フランジ取付)

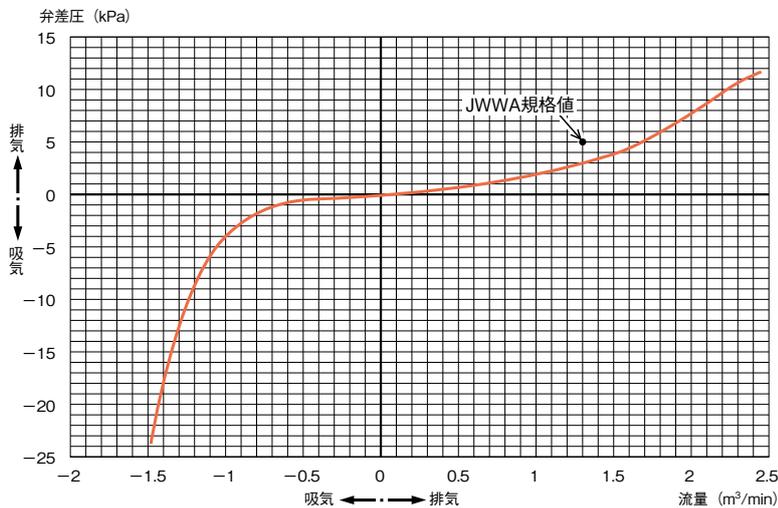


# 配水管の急速吸排気 小型急速空気弁

## 性能

性能試験	試験結果	規格 (JWWA B 137 2種)
弁箱耐圧試験 (水圧1.75MPa、1分間以上)	●異常なし。	●水圧1.75MPa、1分間以上で異常のないこと。
ボール弁の漏れ試験 (水圧0.75MPa、30秒以上)	●漏れなし。	●水圧0.75MPa、15分以上で漏れのないこと。
大空気孔弁座・小空気孔弁座の漏れ試験 (水圧0.75MPa、30秒以上) 及び吸排気作動・圧力下排気試験、傾斜作動試験	●垂直、5°傾きとも弁座漏れなし。 ●吸排気作動・圧力下排気も良好。	●水圧0.75MPa、15分以上で漏れのないこと。 ●2°以内の傾きで取付けられても弁座漏れがなく、吸排気作動・圧力下排気試験において円滑に作動しなければならない。
多量吸排気試験	●弁差圧5kPa時、1.6m <sup>3</sup> /min以上。 ●弁差圧14kPaで大空気孔閉塞、排気量2.8m <sup>3</sup> /min。 ●下記の「多量吸排気性能」グラフを参照。 ●管内空気はスムーズに排出された。	●弁差圧5kPa時、1.3m <sup>3</sup> /min以上。 ●弁差圧10kPaに達するまで大空気孔を閉塞してはならない。
急速充水試験	●閉塞時の水の吹き出しは遊動弁体が浮上する時間差により発生するが、水流に遮られることなく閉塞。	—

### 多量吸排気性能



排気量  
+5kPa:1.6m<sup>3</sup>/min 以上

吸気量  
-5kPa:1.04m<sup>3</sup>/min (65%)

\* JWWA規格値とは、JWWA B 137 水道用急速空気弁に規定されている多量排気量であり、弁差圧5kPa時、1.3m<sup>3</sup>/min以上であること。

## 取付け・取扱い上の注意事項

### ⚠ 注意

- 空気弁は維持管理を要する器具のため、作業可能なメンテナンススペースを確保した、安全な場所に設置してください。
- ねじ部は鋭利なため、直接素手で握らないように注意して扱ってください。取付け作業は、手袋等をして行なってください。
- 設置前に、管内の異物を十分に排出してください。
- 2°以上の傾きがないよう鉛直に取付けてください。傾きが大きいと作動が緩慢になったり、排気量が少なくなる等支障をきたす場合があります。
- 浸水の恐れのない場所に設置してください。地中へ筐等で設置する場合は、短管により高さを調整し、碎石・砂等で排水を良くして、汚水の流入を防いでください。また、筐のふたは通気孔付を使用してください。通気孔がないと、急速排気時にふたが吹き上げられる危険性があります。
- ボール弁はシールテープ等のシール材を使用し、サドルバンドやフランジに確実にねじ込んでください。
- 多量排気を目的に使用する場合、ストレーナを取外して使用してください。
- ボール弁等の補修弁は必ず取付け、ゆっくり開閉し、全開で使用してください。
- 充水速度が速すぎますと遊動弁体の吸い付き限界を超えて大空気孔を閉塞させたり、水撃が発生することがあります。配水管口径が大きい場合には特に注意してください。
- ボール弁等の補修弁を開いて空気弁に充水する時、遊動弁体及びフロート弁体が浮き上がるまでの僅かな時間だけ大空気孔から水が出ることがあります。
- 凍結が予想される場合には、防寒カバー（オプション品）等で凍結防止策を講じてください。
- 解氷作業等での直火での加熱は、漏水の原因となりますのでおやめください。

## 保守・点検

空気弁より漏れ続ける場合には、ボール弁等の補修弁を止め、次の手順で分解・修理・組立てを行なってください。

- 空気弁本体に対してボンネットを緩めて外し、内部のバケットを引き出して清掃してください。また、部品が消耗・劣化している場合には、交換してください。
- 組立て時には、バケットの突起が空気弁本体の切り欠き部に入るようにし、フロート弁体・遊動弁体の順で部品の上下を間違えないように組立ててください。



## NAV-S NAV-ODCⅡ・Ⅲ

### ◆中高層建物の給水立て管では「急速吸気」と「自動空気抜き」が重要。

#### 高置水槽に代わる **負圧破壊=逆流防止装置** が必要！

中高層建物の給水立て管頂部に従来から使用されてきた「空気弁」は、溜まった空気を抜くだけでした。すでにヨーロッパ等では負圧解消のため、「真空防止弁（アンチ・バキューム・バルブ）」を口径によって立て管頂部に複数個設置する基準があります。

近年、直結給水の拡大や高置水槽の廃止等が進み、ブースターポンプや揚水ポンプにより直接給水されるようになり、停電や工事等でポンプが停止した時に発生する、給水立て管内の負圧現象が心配されています。一方、直結器具の普及により、逆止弁の故障時に給水立て管への逆流が懸念されています。そこで、「排気」・「自動空気抜き」機能に併せ、ポンプ停止等で給水立て管内が負圧になった時、瞬時に「多量吸気」して負圧を破壊する機能を1台で有する、次のような【吸排気弁】が求められております。

### 機能

#### ●急速多量吸気（負圧破壊）機能

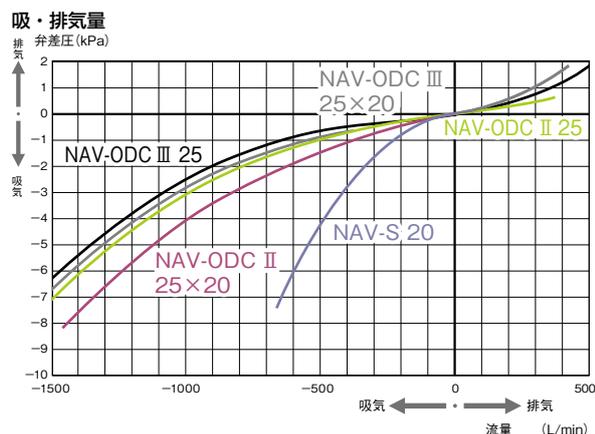
給水立て管内に発生する負圧を、大空気孔から多量の空気を急速に吸い込むことで解消し、管路や直結器具を保護するとともに逆流を防ぎます。

NAV-S 20	1台で40mm立て管に対応。
NAV-ODCⅡ 25×20*2	1台で東京都50mm立て管に対応。
NAV-ODCⅡ・Ⅲ 25	1台で50mm及び東京都75mm立て管に対応。
NAV-ODCⅢ 25×20*3	

立て管口径毎の必要吸気量とNAV吸気性能

立て管口径 (mm)	必要吸気量 (L/min)		NAV 吸気性能 (L/min)
	名古屋市及び都市機構の基準*1	東京都の基準	
20	90	90	NAV-S 20 ⇒425
25	150	150	
30	240	210	
40	420	330	
50	—	540	NAV-ODCⅡ 25×20*2 ⇒833
	840	—	NAV-ODCⅡ 25⇒960 NAV-ODCⅢ 25×20*3⇒1000 NAV-ODCⅢ 25⇒1060
75	—	930	複数個使用
100	—	1500	
150	—	3400	

・吸気量は弁差圧2.9kPa時の値です。  
 \*1 名古屋市及び都市機構（UR）の基準は、スウェーデン吸気性能基準と同値。  
 \*2 NAV-ODCⅡ25×20は、NAV-ODCⅡ25にGユニオン本体25×20を組付けたもの。  
 \*3 NAV-ODCⅢ25×20は、NAV-ODCⅢ25にGユニオン本体25×20を組付けたもの。



#### ●自動空気抜き（圧力下排気）機能

給水立て管頂部に溜まった空気を小空気孔より自動的に排出し、空気溜りを解消します。

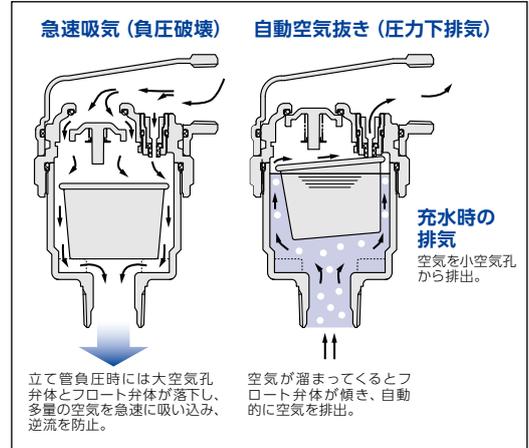
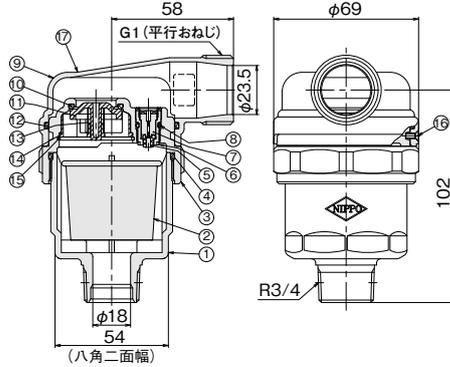
- 性能試験⇒垂直、5°傾き、ともに大空気孔・小空気孔弁座の漏れなし。自動空気抜きも良好。

#### ●充水時の排気機能

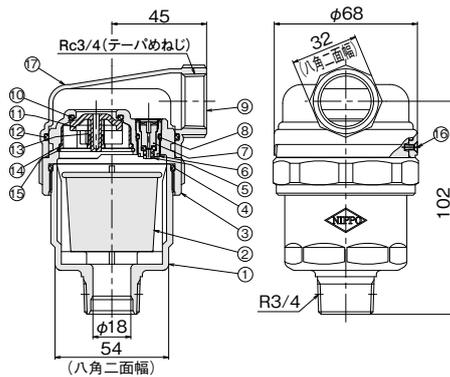
## 構造・寸法

### NAV-S 20

NAV-S・G (排水配管接続部：管用平行おねじ、ナット接続)



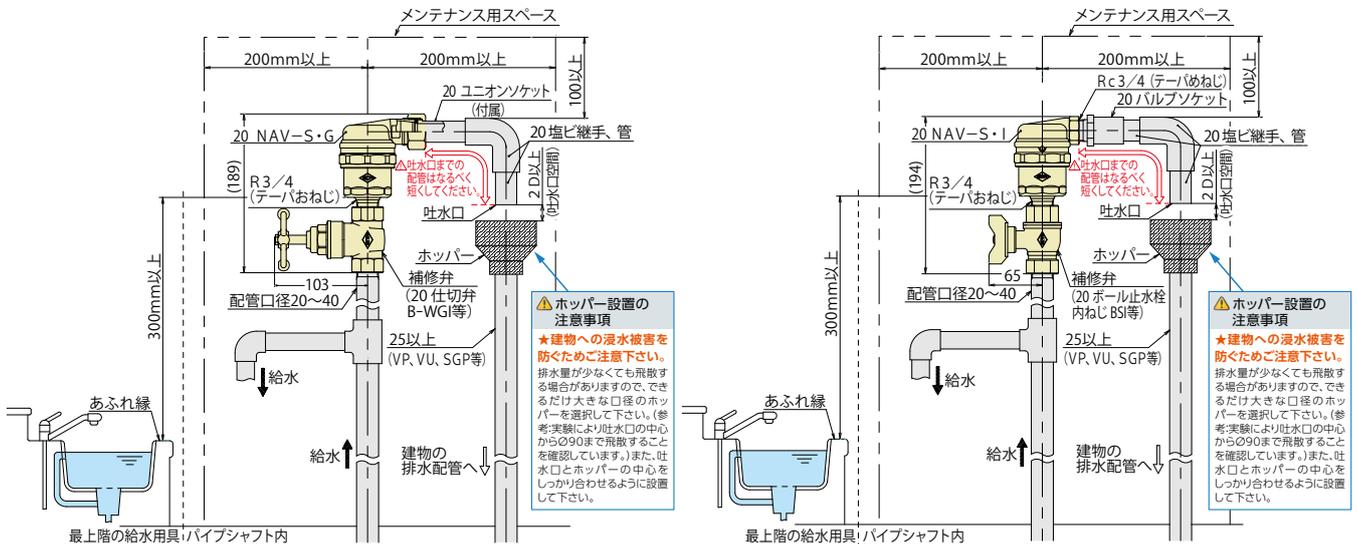
NAV-S・I (排水配管接続部：管用テーパめねじ)



#### 主要部品表

品番	部品	材質
1	本体	CAC911
2	フロート弁体	NBR+フェノール樹脂
3	ボンネット	CAC911
4	Oリング	NBR
5	小空気孔パッキン	NBR
6	小空気孔パッキンホルダ	CAC406C
7	小空気孔パッキン押え	CAC406C
8	Oリング	NBR
9	カバー	CAC911
10	Oリング	NBR
11	大空気孔弁体	POM
12	Oリング	NBR
13	大空気孔ばね	SUS304
14	弁箱	POM
15	C型止め輪	SUS304
16	十字穴付皿小ねじ	SUS304
17	注意喚起ラベル	合成紙

## 設置例





## 仕様

- 使用流体：水道水（常温）
- 使用圧力：0.05 ～ 1.0MPa
- 耐 圧：1.75MPa以下

## 認証登録

- 認証機関：公益社団法人 日本水道協会 品質認証センター
- 適合性能：耐圧・浸出・耐久
- 認証番号：E-471



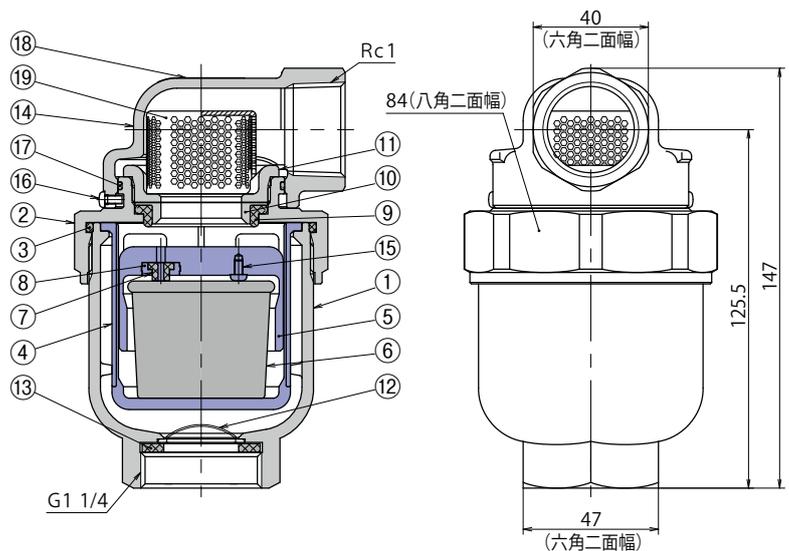
## 特長

- 整流ネット内蔵により、吸気性能が更に向上。
- 整流ネットは、虫等の立て管内への吸い込み防止効果あり。
- 外部排水カバーが回転し、排水配管の位置合わせが容易。
- 充水時に水の排出はほとんどありません。

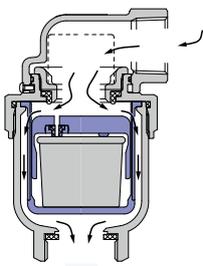
Ⅱ型・高性能タイプから

排水配管付 吸気量 約 **50%UP**

## 構造・寸法

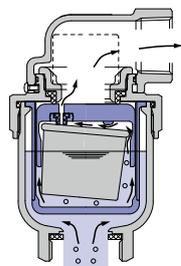


急速吸気（負圧破壊）



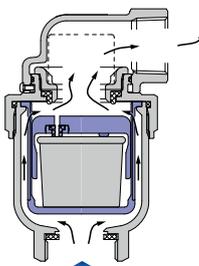
立て管負圧時には遊動弁体・フロート弁体が落下し、大空気孔から多量の空気を急速に吸い込みます。

自動空気抜き（圧力下排気）



空気がたまってくとフロート弁体が傾き、自動的に空気を排出。

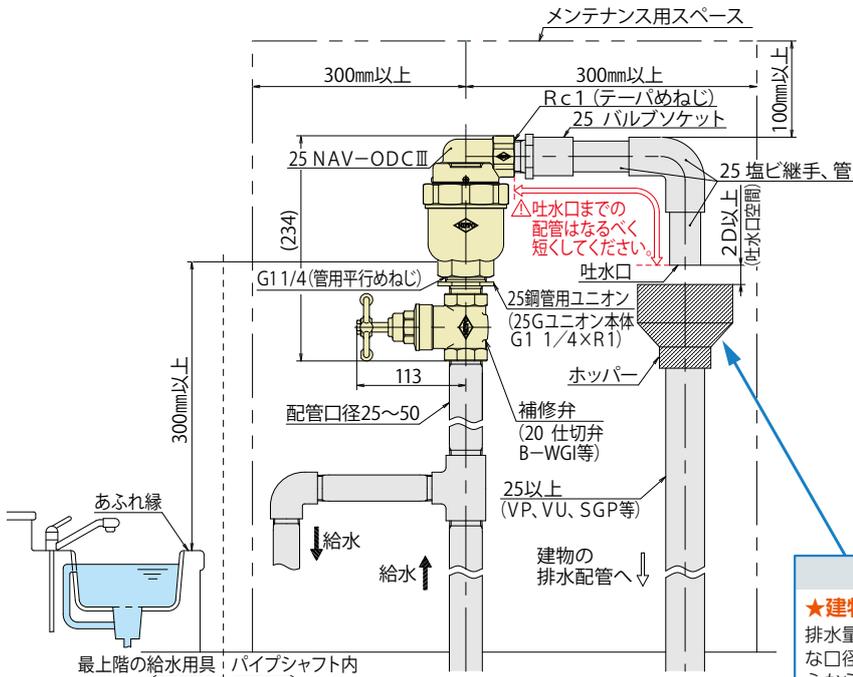
充水時の排気



充水時、空気を大空気孔から排出。

品番	部 品 名	材 質
1	本体	CAC911
2	ボンネット	CAC911
3	Oリング	NBR
4	バケット	POM
5	遊動弁体	PP
6	フロート弁体	NBR+フェノール樹脂
7	小空気孔パッキン	NBR
8	小空気孔パッキン押え	PP
9	大空気孔パッキン	NBR
10	大空気孔パッキン押え	CAC406C又はCAC902C
11	キャップ	CAC406又はCAC911
12	ストレーナ	SUS304
13	パッキン	NBR
14	外部排水用カバー	CAC406又はCAC911
15	樹脂ビス	PC
16	なべ小ねじ	SUS304
17	Oリング	NBR
18	注意喚起ラベル	合成紙
19	整流ネット	ASA

## 設置例



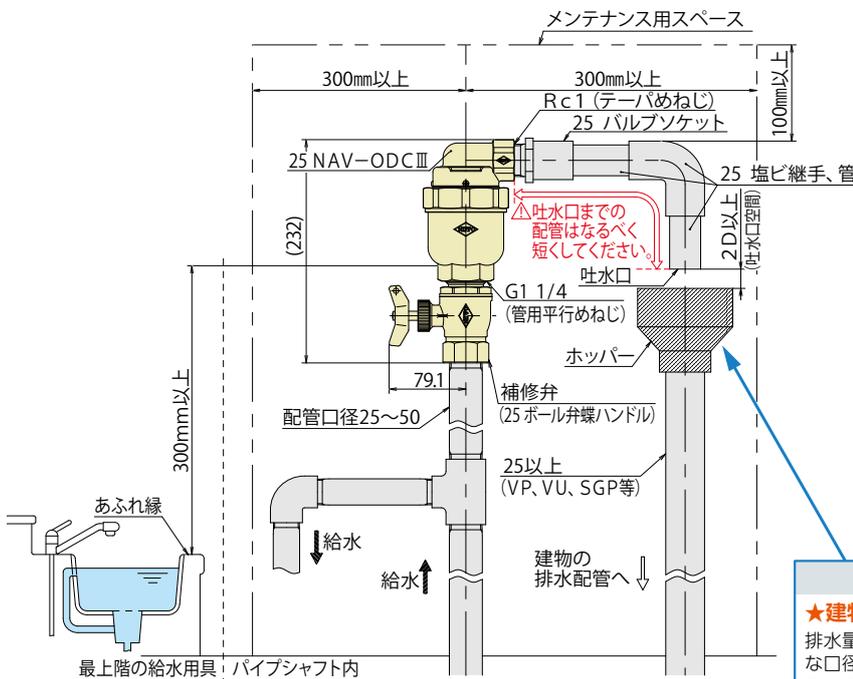
## オプション品

- 空気弁用ボール弁 BS-AIR 25 (R1 1/4)
- 空気弁用内ねじボール弁 BSI-AIR (管端コア付き) 25 (Rc1)
- 内ねじボール弁 蝶ハンドル 25 (Rc1)
- 仕切弁 B-WGI 25 (Rc1) + Gユニオン本体 25 (R1)
- 仕切弁 B-WGI 20 (Rc3/4) + Gユニオン本体 25×20 (R3/4)

### ⚠️ ホッパー設置の注意事項

#### ★建物への浸水被害を防ぐためご注意ください。

排水量が少なくても飛散する場合がありますので、できるだけ大きな口径のホッパーを選択して下さい。(参考:実験により吐水口を中心からの90°まで飛散することを確認しています。)また、吐水口とホッパーの中心をしっかりと合わせるように設置して下さい。



### ⚠️ ホッパー設置の注意事項

#### ★建物への浸水被害を防ぐためご注意ください。

排水量が少なくても飛散する場合がありますので、できるだけ大きな口径のホッパーを選択して下さい。(参考:実験により吐水口を中心からの90°まで飛散することを確認しています。)また、吐水口とホッパーの中心をしっかりと合わせるように設置して下さい。

## 取付け・取扱い上の注意事項

### ⚠ 注 意

- 吸排気弁は維持管理を要する器具です。パイプシャフト内に設置の際は、器具に容易に手が届く十分なメンテナンス用スペースを必ず確保してください。また、建物の外壁に沿う配管等へ設置する際には、安全に維持管理ができるよう配慮してください。
- ねじ部は鋭利なため、直接素手で握らないように注意して扱ってください。また、取付け作業は手袋等をして行ってください。
- 取付け前に必ず洗管し、ごみ等の異物を十分に排出してください。
- 取付け姿勢は鉛直とし、2°以上傾かないようにしてください。傾きが大きいと動作が緩慢になったり、排気量が少なくなる等の支障をきたす場合があります。
- 給水器具や水受け容器のあふれ面より300mm以上、上方に設置してください。
- 配管の際には適切な支持及び固定を行ってください。また、故障時等の出水による被害を防ぐため、必ず上記配管図を参照の上、建物の排水配管へ接続してください。吐水口空間を設けず直接排水配管へ接続しますと、泥水や臭気等を吸い込む危険性があります。
- ホッパー（レデューサー）は、万一の排水を確実に受けられるように施工してください。排水の状態によっては吐水口から外側へ飛散する場合があります。
- テーパーねじはシールテープ等のシール剤を使用し、確実にねじ込んでください。
- ボール止水栓や仕切弁等、開閉の容易なハンドル付補修弁を必ず取付け、ゆっくり開閉し、全開で使用してください。中間開度での使用はおやめください。
- 吸排気弁への充水速度が大きい場合、多量の空気を巻き込みながら充水される場合には、弁体が激しく動き大空気孔から水が出る場合がありますが、異常ではありません。
- 管内の圧力変動が大きい場合、小空気孔から水が出る場合があります。器具としては異常ありませんが、頻度が多い場合は、吸排気弁付近の立て管の圧力の確認をお願いします。
- 凍結が予想される場合は、保温等凍結防止策を講じてください。この時、吐水口空間を塞がないでください。
- 解氷作業等による直火での加熱は、漏水の原因となりますのでおやめください。

## 保守・点検

吐水口で排水が認められる場合、製品に同梱されている「取付け・取扱い説明書」の記述に従って分解し、ごみ等の異物を除去して弁内部の点検を行ってください。



株式  
会社

素敵な創造～人へ・未来へ

日邦バルブ

本社・松本工場 〒399-8750 松本市笹賀 3046  
北海道工場 〒059-1362 苫小牧市柏原 6-120

<http://www.nippov.co.jp/>

#### お問い合わせ先

東京支店	新宿区西新宿7-22-35西新宿三晃ビル 〒160-0023 TEL.03-5338-2231 FAX.03-5338-2230
札幌営業所	北海道札幌市中央区大通東7-1-29 〒060-0041 TEL.011-232-0471 FAX.011-208-2260
仙台営業所	宮城県仙台市青葉区本町3-5-22宮城県管工事会館 〒980-0014 TEL.022-213-3177 FAX.022-213-3266
北関東営業所	栃木県佐野市富岡町1422エイコー吉川ビル1階 〒327-0844 TEL.0283-22-7547 FAX.0283-20-1069
神奈川営業所	神奈川県相模原市南区相模大野7-18-3 〒252-0303 TEL.042-741-7121 FAX.042-765-7157
松本営業所	長野県松本市笹賀3046番地 〒399-0033 TEL.0263-50-5221 FAX.0263-50-5222
名古屋営業所	愛知県名古屋市千種区今池4-1-29ニッセイ今池ビル2階 〒464-0850 TEL.052-735-6511 FAX.052-735-6510
大阪営業所	大阪府大阪市中央区道修町2-6-6塩野・日生ビル 〒541-0045 TEL.06-6210-2563 FAX.06-6210-2564
広島営業所	広島県広島市中区広瀬北町3-11和光広瀬ビル 〒730-0803 TEL.082-232-8117 FAX.082-232-8053
福岡営業所	福岡県福岡市博多区博多駅南6-6-9八英ビル 〒812-0016 TEL.092-472-5128 FAX.092-477-2057

ISO 9001・14001 認証取得